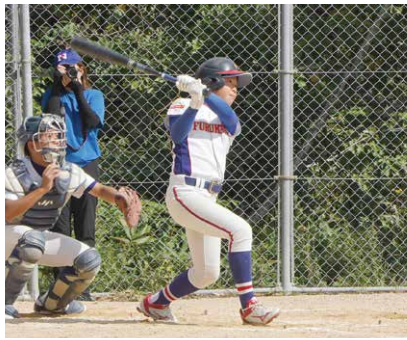


スポーツで

令和4年10月発行

選手の個性を生かし、仲の良いチームづくり

古川町 軟式少年野球 古川クラブ



飛騨少年野球大会の第26回・第30回大会で優勝、第27回東海四県学童軟式野球大会ベスト4入りするなど、他にも数々の実績を残してきました。

現チームとしても、高田宮賜杯第42回全日本学童軟式野球岐阜県大会でベスト8、第18回高山信用金庫理事長旗学童野球大会で優勝するなど、着実に結果を出しています。

チームの特長は、上級生や下級生といった関係がなく、選手みんなが互いに仲が良いこと。苦しい時も楽しい時も、仲間みんなで分かち合い、何事にも一生懸命取り組んでいるそうです。公式戦で勝った時などは祝勝会を開いたり、6年生を送る会も毎年行いながら、「仲間を大切に、励まし合い、助け合い、チーム一丸で勝利を掴むぞ！」をスローガンに日々練習に励んでいます。

「个性的な選手が揃っていませんね」と評価するのは、育成会の宮前嘉寛さん。「野球はチームプレー、組織力の競技と考え



られがちですが、エラーも打率も、最終的には個人の成績・記録の積み重ね。また、マウンドでは1人だったり、守備の時にキャッチャーだけは他ののみならず、意外と孤獨だったりします。そんな中で、打つ・守る・走る、それぞれの選手が得意とする個性・強みを生かしつつ、互いの力不足を補い合う。そういうところに野球の魅力を感じます」と宮前さん。

今年夏は、和歌山県で開かれた「第27回高野山旗全国学童軟式野球大会」に出場。全国という大きな舞台で各地の強豪と戦ってベスト8入りの結果を出し、他チームの選手と交流もできました。

宮前キャプテンはもうすぐチームを卒業。10月には新体制での新人戦があります。「どんな勝てるような強いチームになってほしい」と後輩にエールを送っていました。

宮前さんは「子どもたちが減っている状況ですが、歴代の先輩方の背中を目標にして、チーム一丸で頑張っていきたいです」と話し、一生懸命を出しながらグラウンドで汗を流す子どもたちの姿に目を細めていました。

少年野球チームの強豪・古川ジャガーズと、中田ドラゴンズの根尾昂選手出身の古川西クラブが合併して、新たなチームとしてスタートしました。

全国的にも少子化が進む中、将来的な子どもの減少を見ず

えて合併し、これまで飛騨市内外の大会で実績を積み重ねてきました。

現在、

古川クラブの紹介

- 設立／平成27年9月
- 団員数／15人(令和4年9月現在)
- 練習日／火水金 17時～19時頃
(場所) (古川小、古川西小)
土日祝 午前8時～12時
午後1時～5時
(サンスポーツランド、森林公園球技場、稲越グラウンド、古川小学校)
- 監督／池田卓也監督
- 育成会／荒井正士会長
- 問合せ／荒井さん090-5623-4279
- 体験会／随時、体験練習を実施

キャプテンを務めているのは、宮前嘉元君(古川西小6年)。練習では常に声を出すことを意識している

topic 話題あれこれ

大会終了後、碧君からは「全国軟式野球選手権で優勝する事が出来ました。応援ありがとうございました。応援ありがとうございました。厳しい練習を乗り越え、さらに頑張ります」と市民の皆さんにコメ



中京高校2年 髙田碧君(神岡町)が全国高校軟式野球選手権優勝の一翼担う
令和4年8月24日から29日にかけて兵庫県明石市、姫路市で行われた第67回全国高等学校軟式野球選手権大会に出場した、東海地区代表の中京高等学校が見事優勝！5番ライトで出場した飛騨市神岡町出身の髙田碧君が優勝の一翼を担いました。

大会終了後、碧君からは「全国軟式野球選手権で優勝する事が出来ました。応援ありがとうございました。応援ありがとうございました。厳しい練習を乗り越え、さらに頑張ります」と市民の皆さんにコメ

大会前日の8月23日に行った激励金交付式には、都合により出席できなかった碧君に代わり、母親の明日香さんが代理で出席され、「コロナが心配ですが、みんなが元気に試合をしていただければ幸いです」と話されています。

大会前の7月19日に激励金交付式を行いました。高校一年生の時に卓球に触れ、その後、卓球部の友人が軽快にプレーをする姿に感銘を受け、その友人からの誘いもあり「自分も頑張って彼女の力になりたい」と考えて入



飛騨高山高校3年 坂上雪菜さん(古川町)が全国高校定時制通信制卓球大会ベスト16に貢献
令和4年7月26日から28日まで東京都で行われた全国高校定時制通信制体育大会第55回卓球大会に県代表で出場した飛騨高山・ぎふ国際合同チームが、団体戦でベスト16入りを果たしました。古川町出身で飛騨高山高校通信制3年の坂上雪菜さんも団体戦のメンバーとして大健闘されました。

大会前の7月19日に激励金交付式を行いました。高校一年生の時に卓球に触れ、その後、卓球部の友人が軽快にプレーをする姿に感銘を受け、その友人からの誘いもあり「自分も頑張って彼女の力になりたい」と考えて入

部。「自分の試合に集中し、自分の試合で勝つてチームの流れを引き寄せ勝利に貢献したい」と意気込みを話されています。

大会終了後、雪菜さんからは「全国ベスト16という結果を残せました。応援ありがとうございました」と飛騨市の皆さんにコメントを寄せられました。

【FC岐阜子どもサッカー教室】
■日 時 ①令和4年11月19日(土) ②令和4年11月23日(水・祝)
 小学1～2年生の部 9:30～10:30 (受付9:00～)
 小学3～4年生の部 10:45～11:45 (受付10:15～)
 ※各部先着50名
■場 所 ①流葉グラウンド ②杉崎公園グラウンド
■料 金 金/無料
■申込方法 申込用紙をご提出いただくか、お電話またはFAXにてお申し込みください。
■申し込み・問い合わせ
 飛騨市教育委員会スポーツ振興課
 ☎0577-62-8030 fax0577-73-7497

【宮川町ノルディックウォーキング教室】
■日 時 令和4年10月30日(日) 受付開始9時～
■場 所 飛騨市みずほクリーンセンター駐車場
■料 金 金/無料
■コ ー ス 5km
■当日のスケジュール
 9:00 受付開始
 9:30 開会式、準備運動
 10:00 スタート
 11:30 種蔵新そばまつり参加(1時間ほど)
 13:00 ゴール、整理体操
 13:30 解散
■申込方法 飛騨市スポーツ振興課までお電話ください。
■申し込み・問い合わせ
 飛騨市教育委員会スポーツ振興課
 ☎0577-62-8030 fax0577-73-7497

information お知らせ

編集後記
子どもたちがグラウンドで、元気いっぱい大きな声を出し合って汗を流している姿を久々に見せていただきました▼コロナ禍の運動不足解消のため、ジョギングやウォーキングに取組む方は増加傾向にあるようですが、人が密集する団体スポーツは、人口減少もあって盛り上がりには欠ける傾向にあるようです。それは少年スポーツでも同様です▼そんな中でも、子どもたちの気持ちに答え、全力で応援する保護者の皆さんの姿にふれることができました。そのご労苦に頭が下がりました。(編集)

■飛騨駅伝競走大会を沿道で応援
令和4年11月20日(日)に「第59回飛騨駅伝競走大会」が開催されます。古川町若宮のハートピア古川を発着とする約2.4kmのAコース、約3.5kmのBコース、約4.6kmのCコースがあり、部門等により異なるコースを走ります。団体賞や区間賞、特別賞がある他、飛騨市長の印象に強く残ったチーム又は個人には、飛騨市長賞が贈られます。市担当者は「今大会は古川中学校吹奏楽部や楽団ニユーコメッツによる生演奏などもありますので、市民の皆さんも是非会場や沿道にお越しいただき、選手の皆さんを応援してください」と今大会の盛り上がり期待しています。